



みなだるかな 台地の緑
腰をあらして 正面に
仰ぐ 薬師岳

雲ノ平の核に部に入。名前を口に
しただけで憧れ胸一杯。秘境の
天上・山間の楽園と言われてきた
幽玄境の一角に立って、長い間の
夢が実現した喜びと、この台地
一面に広がるスケールの大きな庭
園の魅力は言葉だけでは実感
を表せない。感じた。
谷さんと感嘆しながら散策する。

北アルプス最奥中央部の雲ノ平、池塘に青く澄んだ水をたたえ、
足元にはシナキンバイ、ヤマキンバイ、コバイケイソウ、名も知れぬ草花の
みずみずしく 精一杯に咲く花のリリシ、健気さをジッと眺め
るとき、花好きの人にとっては、天国のように思える所だ。
ひときわ目立つ雄大な水晶と薬師岳の山容を終始望見する
この世の別天地。次々現れる 素晴らしい
景観に立ち去りがたい思い……
谷さんカメラを出すことも忘れて
ほめながら足を進める。

正面には青黒く重厚な 古武士の風格を思わせ、
泰然と構える水晶岳の偉容。すぐ左隣りは、
対称的な赤茶けた濃いお化粧で装った
赤牛岳が軟らかな線を出している。又黒部五
郎岳のように緑で端正な絵画風な容姿
も良い。一帯左後部は薬師岳が大きなカールを
見せながらも、頂上から伸びる東南稜をひとしお
きわたらせているのが、過去の愛太遭難事件の謎
を明かしているようにも思えた。

雲ノ平山荘への上り口から1分で高天原分岐(テト場は20分先)
道標を見て左折して登る。道は細いがしっかりしている。
岩石のゴロゴロした凹地を越えコロナ屋根へ登る。
台地は広く、コロナ無人観測所から、岩壁ノ原・詩ノ原・苗代ノ原と呼ぶ湿原・草地・池塘・残雪・冷たい氷に岩石……
その周辺に咲く美しい可憐な高山植物群などが周囲
に姿を見せる3000メートル級の山々に抱かれるように続き、
詩情豊かなロマンチックに感じる。

雲遊が雲の平に
我立ちぬ
ひときわ美しい